

2026年夏季！広島県神石郡神石高原町にて開催

みんなでジャンボリー
に参加しよう！

第19回日本スカウトジャンボリー

19th NIPPON SCOUT JAMBOREE (19NSJ)

日本スカウトジャンボリーは、青少年の自己成長を促すための我が国スカウト運動最大の教育イベントとして4年を周期に開催しています。
全国のスカウトと指導者、そして海外からの参加者を交え、スカウト教育の基本である野外活動や班制教育と、開催地域の特色とその時代の社会課題を取り入れたプログラムにより、新たな発見や感動を体感するとともに、スカウト同士の友情の絆を結びます。また、海外からの参加者との交流を通じて、国際感覚を高揚させ、世界平和を考える機会を提供しています。前回大会は、コロナ禍により全国に会場を分散して開催しました。第19回大会は、8年ぶりに全国、そして海外からの参加者が一堂に会して開催します。

大会の概要

写真提供：一般社団法人神石高原町観光協会



①会場 広島県神石郡神石高原町

神石高原町は、広島県東部。標高約500mの中国山地に位置し、人口約8,000人。381平方キロメートルの森林に囲まれた高原の町です。
広島県福山市の中心地・JR福山駅から約38km、山陽自動車の福山東インターから約36km、いずれからも国道182号線を経由して車で1時間弱。中国自動車道の東城インターから車で約27km・30分。



②会期 2026年(令和8年)8月4日(火)～10日(月) 6泊7日間

参加者は、入場から退場まで6泊7日間をキャンプ生活で過ごします。
運営スタッフは、参加者より2日前に入場し、1日後に退場するので9泊10日間を基本に交替等にも対応します。

③参加者

ボーイスカウトおよびベンチャースカウトを中心とした参加隊により、8,000人規模で開催し、青年・成人の大会運営スタッフにより運営します。参加者以外にも会場に訪れる見学者の受け入れを予定しています。

ジャンボリー活動・プログラム

① 全体行事

開閉会式と大会中日の「ジャンボリー大集会」は、参加者が一堂に集まりセレモニーやステージイベントを実施します。

② プログラム

第3日～第6日までの3日ないし4日をプログラムの日として、午前・午後の単位で6～8のテーマに分けたプログラムを計画し、参加者はすべてのテーマのプログラムに参加します。

【プログラムの構想】

高原地での長期キャンプを快適に過ごすための工夫、ゆとりある野営生活の定着
災害時を想定したプログラム、限られた環境での生活
神石高原町及び周辺地域の歴史、文化、自然を体験、学ぶことのできるプログラム
「ちかい」と「おきて」の実践や、平和や恵みについて考えるプログラム



ジャンボリー
(Jamboree)
とは?

ボーイスカウトのキャンプ大会で、ひとつの国または地域的・国際的・世界的規模で開かれるものをいいます。
人種・宗教・言語・習慣の違いを超えて、広くスカウトの交流と親善を深めるために開催されています。世界スカウトジャンボリーは1920年から、日本スカウトジャンボリーは1956年から、ともに4年に1度開催されています。

【過去の開催状況】

開催年	大会名称	開催場所	参加人数	備考
2023年	第25回世界スカウトジャンボリー	大韓民国 セマングム	約43,000人	158の国と地域から参加 日本から1,563人が参加
2022年	第18回日本スカウトジャンボリー	コロナ禍の影響により 全国255か所に分散して開催	14,474人	
2019年	第24回世界スカウトジャンボリー	アメリカ サミットベクトルリザーブ	41,843人	146か国・地域から参加 日本から1,207人が参加
2018年	第17回日本スカウトジャンボリー	石川県珠洲市	13,414人	12か国・地域から562人が参加
2015年	第23回世界スカウトジャンボリー	日本 山口県きらら浜	33,628人	154か国・地域から26,977人が参加
2013年	第16回日本ジャンボリー	山口県きらら浜	14,430人	52か国・地域から1,389人が参加
2010年	第15回日本ジャンボリー	静岡県朝霧高原	19,382人	41か国・地域から795人が参加